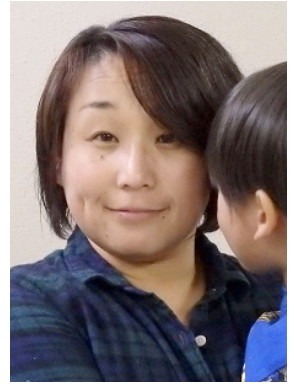


浅木 直美 (准教授)

Asagi Naomi
作物学研究室
Lab. of Crop Science

連絡先
農学部研究棟 315号室



研究内容キーワード: イネ、収量、品質、緑肥、¹⁵N

研究の概要

高収量を維持し環境への負荷を軽減できる**省資材**で**省力的な作物栽培技術の開発**を目指しています。

「水田や畑土壤に施用した有機質資材に含まれる窒素養分の土壤-微生物-作物間動態の解明」

★¹⁵Nトレーサー法を利用して、肥料由来窒素が作物に吸収される割合や土壤に残存する割合などを推定し、収量や品質との関係性を検討しています(図1)。

「耕起条件や水管理方法などが作物の生育、収量および品質におよぼす影響の解析」

★散水による気化熱の効果で稲体周囲の気温を低下させ、登熟期の高温障害の軽減が期待されます。スプリンクラーによる散水が玄米品質におよぼす影響を検討しています(図2)。

主な所属学会: 日本作物学会

★最適な緑肥の施用方法とは？

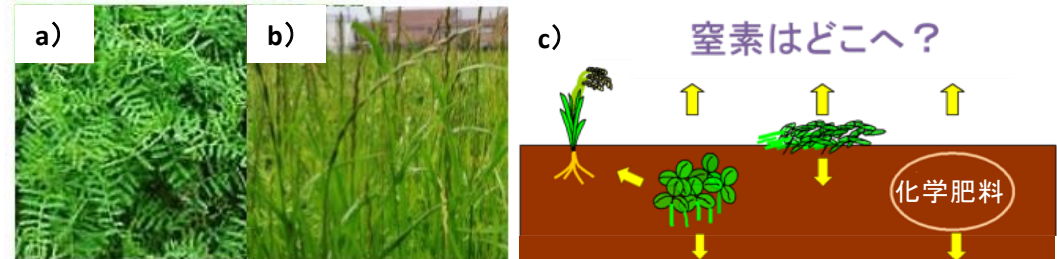


図1 緑肥作物と水田土壤に施用した緑肥・化学肥料由来窒素のゆくえ a) ヘアリーベッチ, b) イタリアンライグラス, c) 肥料由来窒素のゆくえ

★温暖化など環境変化に対応できる栽培方法とは？

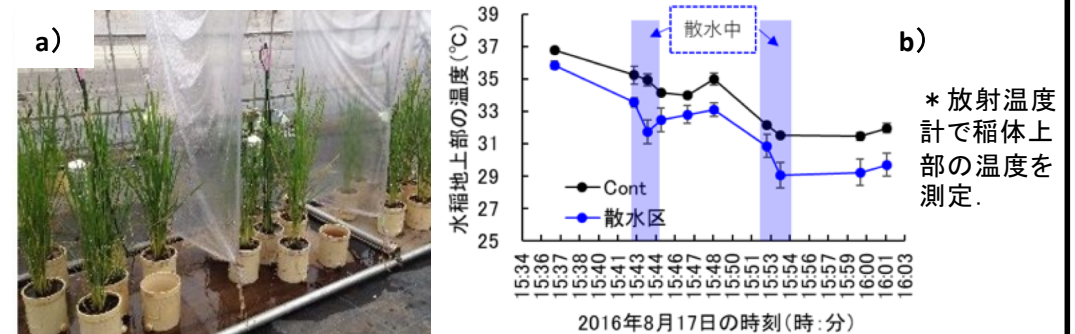


図2 スプリンクラーによる稲体周囲への散水実験

a) 散水の様子, b) 水稻地上部の温度の推移